

# 公孫樹

## 行田中学校だより

特別号 令和6年2月16日発行

### 信頼されるために必要なこと

2月8日の全校朝会で、「銀のアンカー」という大学4年生の就職活動を題材にしたコミックをもとにオンラインで講話を行いました。

主人公は「安定した生活」を求めて、「つぶれない会社」に就職したいと考えます。就職活動の指導をしている先生に相談すると、「究極の安定はどうしたら手に入れられるか」と問われます。

主人公は「究極の安定を手に入れるには、仕事ができる人になること」つまり、企業に依存するのではなく、信頼される人になることが安定につながるということに気づきます。

生徒の皆さんには、「究極の安定を手に入れるためには？」「信頼される人になるためには？」を考えてもらい、周りの人と意見交換もしてもらいました。

個人的な考えですが、信頼できる人は、「あいさつ」と「掃除」ができる人だと思います。この2つができる人は、自分から行動でき、視野が広く、嫌なことでも逃げずに最後までやり遂げることができるからです。実際に、二十社以上のつぶれそうな会社の再建を担当してきた永守重信氏の話では、倒産する会社の共通点は、「掃除が行き届いていない」、「社員同士であってもあいさつをしない」だそうです。

1学期にハートフル賞の表彰を校長室で行った時に、賞状を受け取ったあと、足元に落ちていた葉っぱを拾い、何事もなかったかのように「失礼しました」と出ていった生徒（2年生）がいました。足元のゴミに気づいてサッと拾う行為に感心しました。大人でもなかなかできないと思います。皆さんは、足元のゴミに気づいて行動できますか？小さなことですが、大きなことにつながっている気がします。

究極の安定とは、どうすれば手に入れられると思いますか？

- ・勉強をする
- ・規則や法律を守る
- ・会社がつぶれないように、自分が会社に貢献すればいい
- ・心に余裕を持ち、自分に誇りを持つこと
- ・その時代のニーズに合った会社、伸びていきそうな会社に就職する
- ・自分の業績を上げて、会社としての価値を高める
- ・真剣に働き、法に触れないようにする
- ・どんな職場でも適応できるように、いろいろなことができるようにしたり、たくさん勉強する
- ・環境ではなく、自分を変える
- ・自分が好きで、本当に合っている職業に就くこと
- ・遅刻をしないことや、提出物の期限を守ることで手に入る
- ・様々な業種に対応できるようにすること
- ・たくさんの資格を取る
- ・業績の安定している会社に入る
- ・失敗するたびに改善点を見つけて、学習して修正する
- ・自分のやりがいを見つけられる仕事に就き、ずっとその仕事を続けること

信頼される人になるためには何が必要ですか？

- ・一生懸命に何事にも取り組む
- ・ありがとう、ごめんなさいと言える
- ・自分の行動に責任をもつ
- ・礼儀や挨拶をしっかりとる
- ・マナーやルールを守ること
- ・笑顔で人に接する
- ・仕事のクオリティを維持し続ける
- ・他人の話をしっかり聞き、生かす。

## 信頼される人になるためには何が必要ですか？

- 相手のことを信じる
- 責任を押し付けない
- 小さな約束も必ず守る
- やるべきことを謙虚に行う
- 失敗を責めない
- 相手への感謝の気持ちを忘れない
- 自分を否定せず、これからに向かって努力できる
- 常に周りに気を配る
- 提出物の期限を守る
- 誰にでも丁寧に接する
- 人が嫌だと思わない
- いつも笑顔で、何事にも一生懸命
- 自分の間違いを認められる

## 朝会での話を聞いてどのようなことを考えましたか？

- 周りに頼ってばかりではなく、自分から行動していくことが大切だ
- 究極の安定を手に入れるためには、誰からも信頼される人になることだと思った。
- 安定した生活をしたいなら、企業や仕事などは関係なく、「信頼される人間になること」が大事だとわかりました。信頼されるためには、自分から考えて行動し、嫌なことからも逃げずに挑戦するということが大切だと感じました。
- あいさつは大切だと思った。今日からいつも以上に掃除もがんばろうと思った。
- 色々な人に信頼されることは、社会からも信頼されていて、その信頼される人になるには、自分から積極的にあいさつや掃除をすることが大切だとわかった。
- 自分の将来の夢を思いながら、話を聞くことができた。将来の夢があるので、あいさつと掃除を心をこめてできる人になりたい。
- 将来の夢やその先のことは意識することから始まると思うので、「あいさつ」「掃除」を参考にしつつ、中2から中3に変わるこの時期に考え始めようと思いました。
- 話を聞いたあとに考えてみると、信頼されている人はあいさつも明るくしていて、掃除のときも真面目に、丁寧にしているなという印象がありました。
- 安定した生活にするには、会社や周りの人に頼った仕事をするのではなく、自分が信頼される生活を目指していかなければならないと考えました。
- 言われたことだけでなく、自分自身で行動していくことが大切なのだと学んだ。
- 社会に出た時にどうすればいいのか、周りとは話し合い、自分の中での答えが出た気がします。
- 将来のためにも役立つことを学べてよかった。
- 安定した職に就くためだけでなく、自分のやりたい職業に就くためにも信頼は必要だと思ったので、「あいさつ」「掃除」を頑張りたいと思いました。
- 自分が変わることで安定した生活を送ることができたり、人から信頼されることができたりするのだと学びました。
- 将来安定した生活を送るためには、大きな会社に入ればよい、というわけではないのだとわかりました。
- 信頼される人の特徴が、「あいさつ」と「掃除」ができる人と聞いて、友達を思い浮かべてみると、「あいさつ」と「掃除」ができる人はみんな信頼できる人ばかりでした。
- 将来は自分次第で決まるから、しっかり勉強しなくてはいけないと思いました。それと同様で、礼儀もしっかりしないといけないと思いました。
- 信頼されるために「あいさつ」「掃除」が大切だと知り、少し意外でしたが、私もあいさつ運動をしていたときに、毎回あいさつを返してくれる人のことを信頼していたことに気づきました。あいさつや掃除をすることは、周りに気配りをするにもつながっていると思いました。
- 手に職を持つことができれば生活は安定すると考えていたけれど、自分が信頼されなければ意味がないと思いました。
- 普段の生活の中で、掃除をふざけずにしっかりと取り組んでいる人はたしかに信頼できると思った。僕もそんな人になりたいと思った。
- 人に信頼されるために大切なことは考えたこともなかったです。とても大切なことなのに、何で考えなかったのだろうと思いました。
- 信頼される人がどんな人か考える時、クラスの中でもたくさんの考えがあって、新しい発見がありました。